

～ 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること ～

あらためて感染拡大防止を

福岡県は、8月5日に「福岡コロナ特別警報」を発動し、県民に対して不要不急の外出自粛などの要請と、県有施設の原則閉館の措置がとられ、基本的な感染防止対策の徹底が呼びかけられていました。8月17日、国は福岡県に対し、「緊急事態宣言」を発出しました。福岡県では、1日の陽性者数が1000人を超え、八女市でも陽性者数が増加しています。夏休みが終わり、今日から学校が始まりましたが、あらためて感染拡大防止のご理解とご協力をお願いします。

感染症拡大防止に
ご協力ください



- ① 体調不良や発熱などの症状のある場合は、出校を控えてください。また、熱が下がっても2日間は出校しないでください。 *いずれも、学校にその旨をお知らせください。
- ② 引き続き、毎日の登校前に自宅において**健康観察(検温等)**を行い、**健康チェック表**を提出してください。
- ③ **マスク**については、感染防止の観点から原則として着用してください。
※ ただし、十分な身体的距離(お互いに手をのばして手がふれあわない距離で、約2m)がとれる場合はマスク着用をする必要はありません。また、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合はマスク着用をする必要はありませんが、換気や十分な距離をお互いに保つようにしましょう。
- ④ こまめに**手洗い**(または**手指の消毒**)を行ってください。場所移動をするとき、給食や食事の前後、共用物を使用する前後、トイレの使用の前後などで行います。また、帰宅して、すぐに手洗いをすることは、ウイルスを家庭に持ちこむことを防ぐのにも有効です。
- ⑤ 密な空間を避け、こまめに**換気**をします。学校では、可能な限り、窓を開放するようにしています。エアコンを使用する時や雨天時では、休み時間や授業の途中で、窓やドアを開けて換気をします。
- ⑥ ドアノブなどの共用する部分を1日1回以上は消毒します。これは、学校の方で行っています。

そして、八女市ホームページにもありますように、感染された方等に対して、不確かな情報、誤った情報による人権侵害につながるがないように、正しい情報に基づいた冷静な行動をお願いします。

東京 2020 パラリンピック競技大会

8月24日～9月5日に東京2020パラリンピック競技大会(第16回夏季大会)が開催され、22競技が実施されます。

- パラリンピックとは障がいのあるトップアスリートが出場できる世界最高峰の国際競技大会です。夏季大会と冬季大会があり、国際パラリンピック委員会(IPC)は、大会を通じ共生社会の実現を促進することを目指しています。
- 国際パラリンピック委員会(IPC)は、パラリンピアンたちに秘められた力こそが、パラリンピックの象徴であると、以下の四つの価値を重視しています。
 - 勇気** … マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力
 - 強い意志** … 困難があっても、あきらめず限界を突破しようとする力
 - インスピレーション** … 人の心を揺さぶり、駆り立てる力
 - 公平** … 多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力
- パラリンピックの意義は、様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場です。すなわち、共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会です。また、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることにも気づかせてくれます。

【引用:日本パラリンピック委員会HP】

自分の「夢」の実現にかかわって、パラリンピックからも多くのことを豊かに学ぶことができます。

(文責 木村彰男)